

ハートフルかみす

Mar.2022

Vol.37



男女混合でかけっこ



元気に外遊び



自分らしく働く



男女共同参画推進事業者表彰



子育てと仕事 自分らしく …2・3

座談会 ～幼稚園の先生方と、幼児期の性について考える～ …4・5

女性総合相談、男女共同参画に関する作品 …6・7

古着のリメイク作品を紹介します!! ピーマンタイム…8



男女
共同
参画

「ハートフルかみす」は、市民の編集委員によって作成される、男女共同参画社会を目指すための情報誌です。

練習の時間を設けてくれています。母である私たちには、営業時間内で勉強ができることは本当にありがたく、心強く感じています。こういう美容室が増えていくと、もっとママ美容師が活躍できると思います。また、みんなが母親なので、子育ての悩みも共有できます。そんな職場だからこそ、一人一人輝いて仕事ができるんだと日々感じ、楽しく仕事ができています。」

社員教育にも力をいれているとのことで、マネージャーの大坂さんからメッセージをいただきました。「私たちはお客様を輝かせるお手伝いをしています。新しい情報をお伝えしたいという気持ちを常に持ち、お互いに成長しあえる場所でありたいと思っています。」



また、ラシーネを立ち上げた専務取締役の池田さんは、「女性が働きやすく経済的、精神的に豊かになれる会社づくりを目指しています。人生の転機を何度も経験する女性は、自分の思うようなペースで人生を歩んでいけなくなる時期があります。いろいろな役割をこなしていくうちに見失いがちな自分らしさ。自分の可能性に気づき、自分の価値を知り、能力を開花させ、輝く社会を創っていくことをラシーネのミッションと考えています。」と熱い想いを伝えてくださいました。



『Lacine』（ラシーネ）所在地：神栖市大野原1-5-37 ☎0299-77-5527

男女共同参画推進事業者表彰受賞者 有限会社マインズ

性別にかかわらず生涯活躍できる環境を整備するため、女性の能力活用や家庭生活との両立支援に取り組んでいます。

系列店舗ごとに託児所の併設や日曜定休、営業時間を17時までにするなど、仕事と子育てを両立できる環境を整えています。

またスタッフ一人一人のビジョンに合わせて、管理職を目指したり子育てメインの働き方をしたりなどさまざまなキャリアプランを描くことができます。



子育てと仕事 自分らしく

ママ美容師さんの働き方を応援するサロン 『Lacine』^{ラシーネ}

この度、男女共同参画推進事業者表彰を受賞した有限会社マインズ(MINDS)の系列店であるラシーネでは、子育て中のママが働きやすいよう取り組まれているということで取材させていただきました。



入社2年目を迎える君和田さんは、中学2年生と小学5年生のお母さん。以前の職場では平日は10時から17時、土日はフルタイムで勤務されていました。土日は忙しいためお休みするのも難しく、諦めもあったそうです。

「子どもが小さい頃は寂しい思いをさせてしまったので、スタイリストになるときに、子どもといる時間が増えたらいいなといろいろ探中、マインズとのご縁をいただきました。SNSなどでスタッフみんなが笑顔だったので、楽しく働けることが伝わってきました。」

ラシーネは美容室では珍しい日曜定休。営業時間も17時までなので、通常美容室より早めに終了できるところも、子育て中のママにとってはありがたいことです。「一緒にいる時間が増えたことで子どもたちの笑顔も増えました。日曜日がお休みなのは子どもにとってもうれしいみたいです。」

系列のリノ店には託児所が併設されており、美容室を利用するお客様だけでなく誰でも預けられるとのこと。小さいお子さんがいるスタッフも多いそうですが、保育園がお休みで、預け先が見つからないときなどに安心して働けることも、仕事を続けていく支えとなっているようです。

ラシーネのオープンには、代表取締役と専務取締役の池田さんご夫妻も、子育てと美容師の仕事の両立で大変ご苦労された経験があったからだそうです。

子どもは小さい時ほど体調を崩しがち。突然休んで周りに迷惑をかけたり、自分の思うように仕事ができず苦しんだりすることは、働くママなら誰しも経験があると思います。またサービス業では土日にお休みを取ることの難しさもあります。

「美容師をやりたくて免許をとったのに、技術職なので一度辞めてしまうと戻るのに不安があります。実際、辞めてしまった友達もいました。練習時間は営業後が一般的ですが、ラシーネでは営業時間内に



座談会

幼稚園の先生方と、幼児期の性について考える

うずも幼稚園の園長先生および7名の先生方にご協力いただき、幼児期の性についてお話を伺いました。

好きな色を選ぶ時代に

昔は、例えば七夕の短冊でも、女の子はピンク系、男の子はブルー系のようなイメージで取り組んできた部分もありましたが、近年ではどの園でも、自分の好きな色を選ぶ方向に先生の意識も変わってきていると思います。

年少さんには「男」「女」を教える必要も

3歳など年少の時期は、自分が男の子か女の子か、よくわかっている部分もあるんですよ。男だよ、女だよ、と教える段階でもあります。男女で分けるのは、今の時代には合っていないかもしれませんが、並ばせるなど分ける必要がある場面もあるのが難しいです。

「大事なトイレットサインがな」

体の部分に関する言葉が楽しくて、子どもからそつした言葉が出た

ときや、友達におしりを触られて嫌な気持ちになった、というときには、性のことを教えるいいチャンスだと思っています。

自分の大事なところはどこだろうね、と大事なところを伝えて「見ない、見せない、さわらせない」ということを伝えるようにしています。**男の子、女の子のトイレの違いを知る、疑問を持つ**

ちょっとした興味がある時期なので、トイレをのぞこうとしてしまうこともあるんですよ。男の子の中



座談会の様子

には、座ってするのはうんちのときだけだと思っている子もいて、女の子のトイレは座ってするんだということを知って初めて知る子もいるんです。

女の子に「なんで立っておいっこができないの？ 立ってしてみたい」と言われて、どう対応すべきか迷ったこともあります。男の子でも立っておいっこができない子もいるし、男は立ってするものという考えも変わってきていて、座ってしてもいいんですよ。

プールの着替えも試行錯誤で

幼稚園でのプールの着替えも難しいです。男女で着替えを分けると、体と心で性が異なる子にとっては、そこで着替えることが嫌なことかもしれない。一方で、男女分けてほしいという保護者の声もあります。相手の様子をのぞきたくなくなってしまふ時期でもあるんですよ。何歳から分けるのか、バランスが難しいなと思います。(今年度は、年中と年長は男女で分けて着替え)





かけっこは男女混合で。発表会も好きなものを選べるように

かけっこは年少と年中は男女混合で行いました。年長のリレーは体格差もあるので分けました。

今回の発表会は、男女で分けずに、好きな曲を自分で選択できる発表会にしたいと思っています。

女の子でも忍者を選ぶ、というのは以前から臨機応変にやっていたと思います。クラスの関わりの中で、子どもが好きなものをみんなも理解していて、好きなものを尊重するというのはどの園でもあったと思います。

子どもとの距離感が近い呼び方で

呼び方について「さん」に統一したときもありますが、幼稚園だと「さん」では、子どもとの距離感が少し違う感じがするので、「ちゃん、くん」で呼んでいます。男の子でも「ちゃん」と呼ぶこともあり、男女でこだわって分けてはいけません。改まったときには「さん」で呼んでいます。

「人として尊重する」を大事に

クラスにスカートが置いてあり、男の子でもはいてみたいという子もいます。周りの子も3歳なので、女

なのに、男なのに、という認識もまだない時期でもあり、変だね、ということもなく、楽しく遊んでいるのが見られます。みんなに「かわいいね」と言われるのがうれしくて、見せに来てくれたりします。できる範囲で、男だからスカートをはいちゃだめ、といった固定観念をもたない、そういうことを否定しないようにしています。

おままごとでも、男の子がお母さん役をやることもあります。遊びの中ではいろいろな役割を持って遊んでいます。

ママみたいに化粧をしてみたいと思う子もいます。男性でも化粧する時代。女性がするものだというイメージは少しずつ変わってきていますよ。

多様な個性の時代なので、「人として尊重する」というのが何に対しても大事だと思います。

「一人一人を大事にする」ということが大切かもしれないですね。

家庭での向き合い方

男の子でスカートをはきたい、アクセサリーをつけてみたい、化粧に

興味があるなども、ただ楽しそう、お友達みたいにやってみたいという好奇心かもしれないですよ。年齢やその子によっても対応は変わってくるのではないのでしょうか。

男の子は赤ちゃんを産めないとか、生理的な違いについて、現実を伝えるタイミングは難しいと思います。

親が子にいつも寄り添って「一番の味方だよ」と言ってあげる

そのときのその子の気持ちを考えながら接していくと伝わると思いますが。

「あなたの思いをわかっていますよ」ということがその子にとっては大事かもしれないですね。認めてくれる人がいるということ。隠して生活すると、本当の自分を出せないで苦しいと思います。

取材者の声

幼稚園での遊びや生活が、性について学ぶ場にもなっていると感じました。一人一人を尊重する、気持ちに寄り添うということは、家庭にも通じることだと思います。

お話をしてくださった先生方、ありがとうございました。

女性総合相談

あなたのこころに寄り添う

身近な相談室

女性総合相談とは？

この相談室では、家庭のこと、仕事のこと、DV、セクハラ、離婚など、女性が抱えるさまざまな悩みや困りごとの相談に応じています。市内だけでなく、近隣市町村の方々の相談も寄せられています。

今回は相談員さんにお話を伺う機会をいただきましたので、その声をお届けします。

女性総合相談の歩み

神栖市には女性の悩みを相談する窓口がなかったため、専門の知識を持つ仲間が2002年にボランティア



一つだと思っていた悩みごとが、実はいろいろと複合していることもあり、問題が大きくなってしまう。解決に向かうのが遅くなってしまう。こんなことでもいいのか？ ということでも大丈夫です。



今回お話を伺い、やさしく穏やかな雰囲気でも包まれているのを感じました。直接対面で話をすることで、めらう場合は、電話やメールでの相談も受け付けています。これからも悩みを抱える方々の道しるべとして、この場が活用されることを願っています。

女性総合相談

このポスターが目印です！

- 面接相談 (要予約)
- メール予約・相談
- 電話相談 (予約不要)

毎週火曜日、第2・4木曜日 13時～16時
予約電話 ☎0299-90-1171(市民協働課)
※予約は年末年始を除く、平日8時30分～17時15分の間で受け付けます

予約：hotline-yoyaku@city.kamisui.baraki.jp
相談：hotline@city.kamisui.baraki.jp

毎週火曜日、第2・4木曜日 13時～16時
相談専用電話 ☎0299-91-1236



女性総合相談

Q & A

Q 相談員はどのような方ですか

A 相談員は全員女性で、DVをはじめとする女性の困りごとに関するさまざまな研修を受けています。傾聴と共感を心がけており、相談者の方がリラックスして話ができるように配慮しています。また、若年層を対象に「デートDV防止出前講座」を開催し、次世代に暴力を引き継がないための取り組みもしています。

Q どのような相談ができますか

A 相談内容は多岐にわたり、夫婦関係や親子関係などの家庭のこと、職場における人間関係のこと、近隣問題や性被害についてなどさまざまです。相談の回数制限はありませんので、心が軽くなるまで、何度でもご利用いただけます。

Q ちょっとしたことでも相談して大丈夫ですか

A もちろん、「ご相談ください。」「少し気にかかるな...」というふうな心配ごとがあるようでしたら、相談員に話してみませんか。人に聞いてもらうだけでスッキリすることもあるかもしれません。秘密厳守ですので、誰かに知られることはありません。

Q 男性ですが、家庭のことについて相談したいです

A 「女性総合相談」という名称ですが、DVや家庭の問題、仕事のことなど、内容によっては男性からの相談も受け付けています。予約の際にお問い合わせください。

Q 相談件数はどれくらいですか

A 年間100件以上の相談が寄せられています。面談を希望される方が多いですが、最近は新型コロナウイルスの影響もあり、電話相談の割合も増加しています。また、メールによる相談や予約にも対応しています。

男女共同参画に関する作品

家庭・地域・学校・職場など社会のあらゆる分野において、性別に関係なく誰もが自分らしくいきいきと生きるための日々の気づきや想い、つづやきをワンフレーズメッセージとして募集し、38作品の応募がありました。

受賞作品

最優秀賞	その笑顔 きっとだれかを 助けてる	雑賀 絵美子
優秀賞	遅くない 今日から家事に手を出そう 老後はきっと吉となる	立元 睦男
	性別の 垣根を無くそう 未来・永遠	匿名
	社会の子 地域みんなで 子育てを	匿名
	あきらめないで つづけてみよう みんな笑顔になれるから	匿名

古着のリメイク作品を紹介します!!

SDGsに関する取り組みの一環として、前号(第36号)で「古着のリメイク作品」を募集しました。

それぞれの思い出が詰まった古着。若い頃の洋服や着物、羽織や浴衣、Tシャツなどにひと工夫凝らした新たな作品が届けられました。素敵な作品をご紹介します。

限りある資源を無駄にせず、使えるものは使い切ることの大切さを感じました。ご協力ありがとうございました。



ちょこっと休憩!

ピーマンタイム

ヨコのヒント

- 1 フィンランドの出産・育児施設。神栖にも設立された子育て世代包括支援センターのモデル。
- 7 ダーク○○○(暗黒物質)は、宇宙の85%を占める正体不明の物質。
- 11 対義語はキリ。
- 15 P.5参照。運動会で年少・年中さんは男女混合で行いました。
- 19 ヤシ科の植物。硬い繊維層は縄やほうきに使用される。
- 23 人格的に優れている人は、コレが高い人といわれます。
- 26 旬の時期。出荷の…
- 31 スイス発祥の楽器。カリブ海の、ドラム缶で作った有名な楽器がもと。

1	2 D	3			6
7				11	B
		15	A		
19	20			23	
	26		28		
31		C			

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

ヒント：スポーツのひとつです。

クロスワード

- 28 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
- 28 日本プロ野球。○・○両リーグ
- 20 物見○○○。見物や遊びに行くこと。
- 21 レース中、タイヤ交換をするために○○○○○
- 22 3 音声を合成するソフトウェア(初音ミクが有名)
- 23 6 世界の国々の国旗をつなげたもの。運動会の装飾等に使用される。
- 24 11
- 25 11 レース中、タイヤ交換をするために○○○○○
- 26 2 はかなく消える○○かたの夢。
- 27 2 はかなく消える○○かたの夢。
- 28 1 あらかじめ手を打っておくこと。例：○○○○
- タテのヒント



抽選で正解者30名様にカミスコくんA5サイズノートをプレゼント!

【応募方法】はがきに①答え ②ハートフルかみすへの意見や感想 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥連絡先を記入し、右記住所まで郵送 〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5 市民協働課宛て

【応募期限】4月15日(金)消印有効 ※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



女性と男性がともに協力しあって活動しているグループ、地域で活躍されている方の情報、また取り上げてほしいニュースなどをお寄せください。

✉ kyodo@city.kamisu.ibaraki.jp

編集委員

- 安藤委員
- 林委員
- 松本委員
- 柴田委員
- 水城委員

茨城県内の魅力を伝える「電子書籍」ポータルサイト「イバラキイーブックス」

ibaraki ebooks

スマートフォンやタブレットで「ハートフルかみす」が閲覧できるようになりました。

